

3 主な業務内容 Contents of Main Activities

1 展 示 Exhibition
●常設展示(1F)
板橋区の歴史について紹介します。
敷地内には、江戸後期に建てられた古民家(旧田中家住宅)や、板橋宿で栄えた貸座敷「新藤楼」の玄関が移築されています。



常設展示の様子

●企画展示(2F)
年に複数回おこないます(特別展、収蔵品展など)。
●コレクション展示(1F)
常設展示室の一角で、当館収蔵のコレクション資料を紹介します。



古民家(旧田中家住宅)

●ミニ企画展示(1F)
常設展示室の一角で、季節やイベントに合わせた展示をおこないます。2F企画展示と連携する場合もあります。



板橋宿貸座敷「新藤楼」の玄関

2 講演会・シンポジウム Lectures/Symposiums
企画展示の開催中に、展示テーマに沿った内容の講演会やシンポジウムなどをおこないます。

3 博物館講座・体験学習・年中行事 Lessons on this museum / Hands-on learning / Annual events
古文書講座や勾玉づくり体験などを実施します。古民家では年中行事の飾りが楽しめます(桃の節句・端午の節句・タナバタ祭り・お月見・マユダマ飾りなど)。



桃の節句(ヒナマツリ)

4 武者行列事業 Samurai's procession activity
区内のまつり(農業まつり、梅まつりなど)で武者行列をおこないます。地域の子どもたちが鎧や着物姿で練り歩きます。※協力:いたばし武者行列保存会
毎年5月5日(こどもの日)には、古民家を背景に記念撮影イベントをおこないます。



武者行列(梅まつり)

5 レファレンスサービス Reference service

板橋区の歴史や文化についての問い合わせを随時受け付けます。また、夏休み期間中は自由研究相談対応もおこないます。

※各事業は、新型コロナウイルス感染拡大防止などにより内容変更・延期・中止となる可能性があります。
※ Each activity may be changed/postponed/canceled due to prevention of spread of COVID-19.

4 利用案内 Usage Guidance

開館時間 9時30分～17時00分(入館は16時30分まで)
9:30 a.m. - 5:00 p.m. (permitted to enter until 4:30 p.m.)

休 館 日 月曜日(ただし、月曜が祝日の場合は開館し、翌日休館)
年末年始 ※展示の入替えや設備点検等で休館する場合があります
Closed on Monday (in the case of any national holiday on Monday, opened on Monday and closed on the following day) and New Year's Holidays.
※It may be closed due to change of display, any equipment inspection, etc.

入 館 料 無 料 Free of charge

交通案内

■徒 歩
①都営三田線「西高島平駅」下車 徒歩13分
②東武東上線「成増駅」下車・東京メトロ「地下鉄成増駅」下車 徒歩23分

■タクシー利用
都営三田線「高島平駅」西口または東武東上線「成増駅」北口から 約5分

■バス利用
①都営三田線「高島平駅」下車 西口2番バス乗場
(区立美術館経由成増駅北口行) にて区立美術館下車 徒歩2分
②東武東上線「成増駅」・東京メトロ「地下鉄成増駅」下車 北口2番バス乗場
(区立美術館経由高島平操車場行) にて区立美術館下車 徒歩2分
※美術館を経由しないバス(系統)もあるので乗車前に確認してください



板橋区立郷土資料館

〒175-0092 東京都板橋区赤塚五丁目35番25号
TEL.03-5998-0081 FAX.03-5998-0083

E-MAIL kyoudo@city.itabashi.tokyo.jp

ホームページ https://www.city.itabashi.tokyo.jp/kyodoshiryokan/

ITABASHI HISTORICAL MUSEUM



江戸手描友禅訪問着「江戸百景」(部分)
制作年:平成元年(1989) 寺澤森秋 作



高島四郎太夫砲術稽古業見分之図
伊村榮以

令和4年度 展示案内

Information about Exhibition In April, 2022 - March, 2023

区板立橋郷土資料館

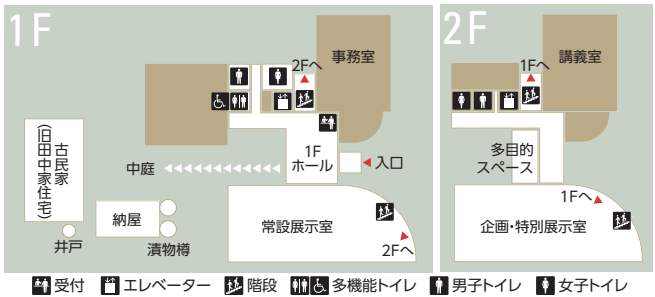
1 館紹介 Introduction of Museum

板橋区立郷土資料館は、昭和47年(1972)開館の文化施設です。赤塚城址および赤塚溜池公園に隣接しています。当館では、板橋区の歴史や文化に関わる資料を保存調査しています。また、展示や教育普及事業を通し、地域文化振興を図っています。



郷土資料館外観

Itabashi Historical Museum, next to Akatsuka Castle Ruins (Akatsuka-Jyoshi) and Akatsuka Pond Park (Akatsuka-Tameike-Koen), was established in 1972. This museum preserves/investigates some materials regarding history/culture of Itabashi City, and tries to promote the regional culture through display and educational promotion activities.



2 主な収蔵資料 Main Collection Materials

板橋区に関わるコト・モノの資料を収蔵しています。

- 中山道板橋宿 Nakasendo Itabashi-shuku
木曾街道板橋之驛
- 江戸・明治期などの古文書 Ancient documents mainly during the Edo/Meiji period
- 民具(農機具など) Articles for everyday use (agricultural implements, etc.)
唐箕
- 幕末の砲術家・高島秋帆と西洋流砲術 TAKASHIMA Shuhan (an artilleryist in the late Edo period) and western-style artillery
阿蘭陀直伝 高嶋流砲術巻
- 甲冑刀剣類 Armor/Swords, etc.
本小札黒糸威丸銅具足(伝・板倉家甲冑)
- 戦時中の生活や学童疎開 Life during the war and evacuation by school children
竹かぶとと拍子木
- 伝統工芸 Traditional crafts
江戸小紋「中山道板橋宿」(部分)
制作年:平成7年(1995) 小林茂徳・福司 作
- 煎茶道 Sencha-do (Japanese green tea ceremony)
煎茶道具(臨本陣豊田家什器類)
- 人類学者・石田収蔵の北方民族調査 Survey on northern people by ISHIDA Shuzo (an anthropologist)
ミミズク形木偶

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月						
区政施行90周年記念展 Exhibition 2022年4月23日(土)～6月19日(日) April 23 (Sat.) – June 19 (Sun.) 板橋区の成り立ちとあゆみ 役所は、大化元年(645)の大化改新により、戸籍づくりや水田の把握を通じた税の管理や武器を収めることを仕事とする国司が東国へ派遣されたことに始まるとみなすことができます。 展示では、古代に始まる役所の歴史を解説し、明治11年(1878)に成立した北豊島郡の郡役所が置かれ、その中心となった板橋地域と昭和7年(1932)に成立した板橋区のあゆみを紹介します。また、役所における昔の仕事から、今の姿を明らかにします。展示から、歴史ある板橋の成り立ちを知り、区への愛着や誇りを持つきっかけとなれば幸いです。 戸田町より区編入地図 【板橋区公文書館所蔵】 「板橋区役所」写真(昭和40年頃) 四葉地区遺跡出土 円面硯			第20回伝統工芸展 Traditional Crafts Exhibition 2022年7月9日(土)～9月19日(月祝) July 9 (Sat.) – September 19 (Mon. / National Holiday) 染と織 —真田紐・江戸小紋・江戸手描友禅— 染織分野で活躍する板橋区の伝統工芸士とその高度な技術・作品を紹介します。伝統工芸の保存継承への理解と関心を深めていただくとともに、染と織の世界の美しさをお楽しみいただければ幸いです。 真田紐 主に美術工芸品を入れる桐箱の紐として利用されます。 ～市村藤一氏・宏氏～ 藤一氏は、令和3年(2021)に国の選定保存技術の保持者に認定されました。 江戸小紋 型紙を使って非常に細かな模様を染めるものです。 ～小林福司氏～ 令和2年(2020)に板橋区登録無形文化財技術保持者に認定されました。 江戸手描友禅 糊防染による優美で多彩な模様染のことです。 ～寺澤森秋氏～ 令和元年(2019)に厚生労働省の「卓越した技能者(現代の名工)」を受賞されました。 真田紐 制作年:平成時代 市村藤斎 作 【織元】 江戸小紋 「寄席型 竹」(部分) 制作年:令和元年(2019) 小林福司 作【小林染芸所蔵】 江戸手描友禅振袖 「王朝のいろどり」(部分) 制作年:平成2年(1990) 寺澤森秋 作【森秋工房所蔵】			開館50周年記念特別展 Special Exhibition 2022年10月8日(土)～12月11日(日) October 8 (Sat.) – December 11 (Sun.) 接收刀剣 —板橋に集いし赤羽刀— 赤羽刀は、第二次世界大戦後、GHQにより武装解除のため日本中の武器類が接收され、北区赤羽に所在した米第八軍赤羽兵器補給廠に保管されていたことから名づけられました。今回は、当館に譲与された赤羽刀と参考として開館から現在まで収集した刀剣を展示します。また、刀剣は古来より武器としてだけではなく儀式や鑑賞の用途としても利用されてきました。今回の展示では、各刀剣の来歴、鑑賞方法についても紹介します。 脇差 水心子正秀(花押) 打刀 備前介藤原宗次			企画展 Rotating Exhibition 2023年1月21日(土)～3月19日(日) January 21(Sat.) – March 19 (Sun.) 旧粕谷家住宅築300年記念 いたばしの古民家 板橋区に残る、昔のたてものとその暮らしについて紹介します。特に、令和5年(2023)に築300年を迎える「旧粕谷家住宅」に注目します。 古民家や古民家に残された歴史資料は、昔の人の生活や文化をいまに伝える貴重な文化財です。これらをご紹介します。郷土・板橋への愛着を深める機会とします。 旧粕谷家住宅 【板橋区教育委員会所蔵】 工事で見つかった建築年代を示す墨書のある枓 ※享保8年墨書【板橋区教育委員会所蔵】 「旧粕谷家住宅」とは 板橋区に現存する江戸中期の古民家。 ※平成29年度板橋区登録有形文化財(建造物) ※平成29年度東京都指定有形文化財(建造物) Q. いつ建てられた? …300年前の享保8年(1723)。平成28年(2016)からの改修復元工事で墨書がみつかり、建築年代がわかりました。建築年代が明らかな民家としては都内最古級です。 Q. 誰が使っていた? …粕谷尹久子家(徳丸脇村の名主・粕谷五郎右衛門がここに隠居し初代・浅右衛門になったことに始まる家系)。 Q. どんな特徴がある? …日本の多くの古民家は移築保存されていますが、「旧粕谷家住宅」はいまも建築当初の場所にあります。江戸中期の関東の民家の特徴を備えています(3本の大黒柱、シシ窓等)。								
2022年2月1日(火)～5月8日(日) 花鳥風月ワンダーランド			5月10日(火)～7月31日(日) クイズ! くずし字、読んでみよう —頼朝・和宮編—			8月2日(火)～10月23日(日) 木綿と藍 —いたばし農家の装い—			10月25日(火)～2023年1月29日(日) 徳丸の人類学者、樺太を調査せり			1月31日(火)～4月23日(日) トブコン展示室リニューアル記念展 板橋と光学 番外編 東京光学の光学製品					
2022年4月5日(火)～7月3日(日) 高島平誕生ヒストリー			7月5日(火)～10月2日(日) コロナを記録する			10月4日(火)～1月15日(日) “やきもの”の歴史			1月17日(火)～4月2日(日) いたばしSTYLE—板橋宿を訪れた旅人編—								
2022年2月19日(土)～4月3日(日) 桃の節句(ヒナマツリ)			4月23日(土)～5月8日(日) 端午の節句			7月2日(土)～10日(日) タナバタ祭り			9月10日(土)～18日(日) お月見			2023年1月7日(土)～15日(日) マユダマ飾り			2月18日(土)～4月2日(日) 桃の節句(ヒナマツリ)		
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月						